

赤城山景観ガイドラインの概要

(1) 基本理念

Akagi Well-Viewing

赤城ウェルビューイング

<質の高い景観体験がもたらす効果>

赤城山の価値である、美しい自然。赤城山の自然とともにある景観が、自然に敬意を払い、世界の来訪者に誇ることができる、将来にわたって継承すべき景観となることを目指します。

「質の高い景観体験」は、目の前の風景がより良いものになるだけでなく、赤城山の価値をつくり、赤城山を好きになってもらう人を増やす、自立した地域経済を得るなど、様々な効果が期待できます。

(2) 基本方策

1 「らしさ」を守る

赤城山らしさ＝長くあるもの



2 「地」をつくる

映えさせる景観、馴染ませる景観



3 「まとまり」で演出する

赤城山の価値を、みんなで共有する



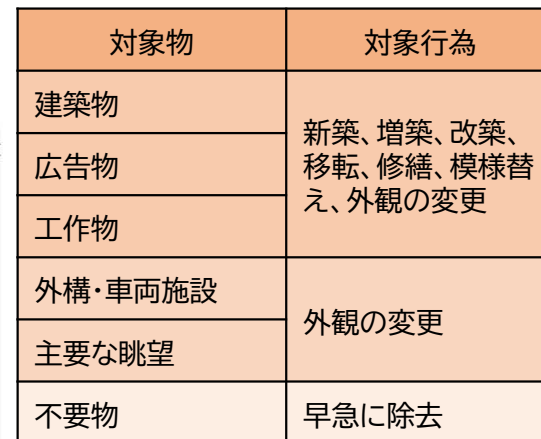
(3)対象範囲



回遊エリア
歴史・文化・観光施設の回遊動線
道路、立ち寄り施設周辺のエリア

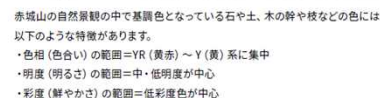
保全エリア
自然を守り、自然を楽しむエリア
視点場となる湖、山頂、遊歩道、山道

(4) 対象物・対象行為



自然景観を美しく見せる「地の色」の推奨色

赤城山にある石や土、木の幹や枝などの色



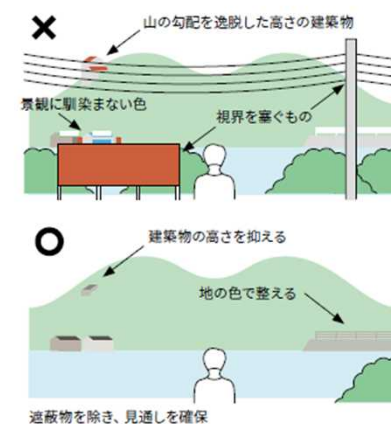
建築物外観・工作物の推定色

建築物や工作物などを、赤城山の「地の色」と同じ範囲で収めることで、まとまりや落ち着いた印象をつくり、花の色、葉の緑、空や湖の色を美しく見せることができます。推奨色の中から赤城山の景観に馴染みやすい色を絞り込んだり、裏っぱなどの自然から抽出したより華やかな色をテーマカラーとして選び、サインやファニチャー等へ展開することも考えられます。

視点場からの見通しを守る

- 視点場から見える遮蔽物は除くなどして、視点場からの見通しを確保し景観を整える
- 視点場から見える建築物や広告物は、山の勾配を逸脱しない高さに抑え、推奨色にするなどして、自然景観に馴染ませよう努める

山々から見下ろす眺め、湖上から見渡す眺め、湖へ見通す眺めは、赤城山の大切な価値として、みんなで守りましょう。



本ガイドラインの運用を通じて、赤城山の価値をより高める景観づくりに取り組んでいきます。